



アクサダイレクト

# 2021 Annual Report

アクサ損害保険の現状

## グローバルに展開するアクサグループ

アクサは1817年にフランスで生まれ、世界54の国と地域、約1億500万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。



約 <b>11兆7,831</b> 億円(約967億ユーロ) 総売上	約 <b>5,194</b> 億円(約42.6億ユーロ) アンダーライニング・アーニングス
約 <b>130兆3,783</b> 億円(約10,320億ユーロ) 運用資産総額	約 <b>3,854</b> 億円(約31.6億ユーロ) 純利益

数値等は2020年アクサグループ実績。SOCIALLY RESPONSIBLE INVESTMENT RATINGS・格付け等は、2021年6月30日現在のものです。

※ 換算レート

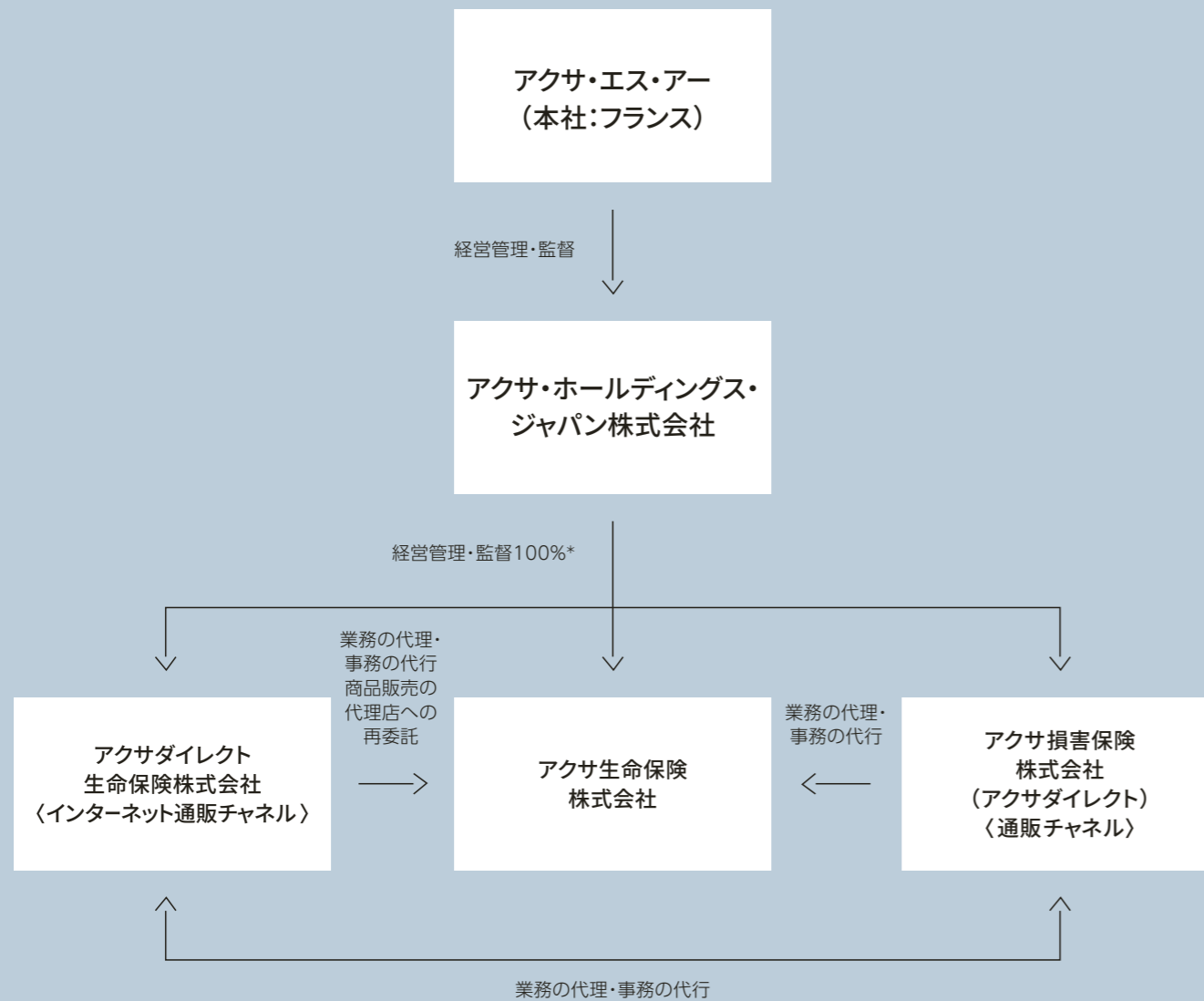
総売上、アンダーライニング・アーニングス、純利益：1ユーロ=¥121.824(2020年平均)

運用資産総額：1ユーロ=¥126.325(2020年12月末)

※ 標記の格付けはアクサ損害保険の格付けではありません。S&P Global Ratings、Moody's Investors Service、Fitch Ratingsの格付けは、アクサグループの主要な子会社に対する格付機関の評価日時点(S&P Global Ratings:2021年4月27日、Moody's Investors Service:2020年9月7日、Fitch Ratings:2021年5月27日)のものであり、保険金支払等について保証を行うものではありません。また、将来的には変化する可能性があります。なお、これらの格付機関は、日本において金融商品取引法第66条の27に基づく登録を行った信用格付業者ではありません。

## アクサグループの日本における事業展開

アクサグループは日本において、保険事業、資産運用事業、アシスタンス事業など、多岐にわたるビジネスを展開しています。保険事業では2019年4月に持株会社であるアクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社を設立し、アクサ生命、アクサダイレクト生命、アクサ損害保険を子会社としています。保険3社が相互に連携を深めるとともに、その他のアクサグループの日本におけるメンバーカンパニーと密接に連携しながら、お客さまをリスクからお守りするための商品・サービスをご提供しています。



\* アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社が所有する議決権の割合  
(2021年6月30日現在)

### ■その他のメンバーカンパニー

#### 資産運用サービス

- アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

#### 不動産投資・資産管理サービス

- アクサ・リアル・エステート・インベストメント  
・マネージャーズ・ジャパン株式会社

#### アシスタンスサービス

- アクサ・アシスタンス・ジャパン株式会社

#### その他のサービス

- アクサ収納サービス株式会社\*\*
- XLカトリンジャパン株式会社
- アクサ・ウェルス・マネジメント株式会社\*\*

\*\* アクサ・ホールディングス・ジャパン (AHJ) の子会社です。

アクサ・ホールディングス・ジャパンは、傘下の保険会社3社の多様な販売チャンネルを通じて、変化するお客さまのニーズに的確なアドバイスやサービス、最適な保険商品でお応えしています。

### アクサ損害保険(アクサダイレクト)

アクサダイレクトは、1998年に設立され、翌年7月より営業を開始し、現在は主に自動車・バイク保険、ペット保険を販売しているアクサのメンバーカンパニーです。個人のお客さまを対象とした「アクサダイレクト総合自動車保険」は好調な販売を続け、保有契約件数は110万件を超えています。

#### 〈主要な業務の内容〉

##### 損害保険業免許に基づく保険の引受け

保険業法第3条第5項に係る保険の引受けを行っています。

##### 資産の運用

保険料として収受した金銭などの資産の運用として、主に有価証券投資などを行っています。

##### 他の保険会社の保険業に係る業務の代理または事務の代行

保険業法第98条第1項第1号に基づき、他の保険会社の保険業に係る業務の代理または事務の代行を行っています(アクサダイレクト生命保険株式会社の保険業に係る業務の代理および事務の代行など)。

### アクサ生命

アクサ生命はアクサのメンバーカンパニーとして1994年に設立されました。アクサが世界で培ってきた知識と経験を活かし、264万のお客さまから487万件のご契約をお引き受けしています。前身企業の一つである日本団体生命が1934年の創業以来築いてきた全国511の商工会議所、民間企業、官公庁とのパートナーシップを通じて、死亡保障や医療・がん保障、資産形成などの幅広い商品、企業福利の増進やライフマネジメント®\*に関するアドバイスをお届けしています。

\* ライフマネジメントはアクサ生命保険株式会社の登録商標です。

### アクサダイレクト生命

アクサダイレクト生命は、2008年4月より営業を開始した日本初のインターネット専業生命保険会社です。アクサのメンバーカンパニーとして生命保険のダイレクトビジネスを担う生命保険会社として、アクサ生命、アクサ損害保険と相互に連携し、シンプルで合理的かつ手頃な保険商品、デジタル技術を活用した便利で革新的なサービスをご提供しています。お客さまがいつでもどこでも安心してご契約いただけるよう、様々なタッチポイントで保険選びをサポートしています。

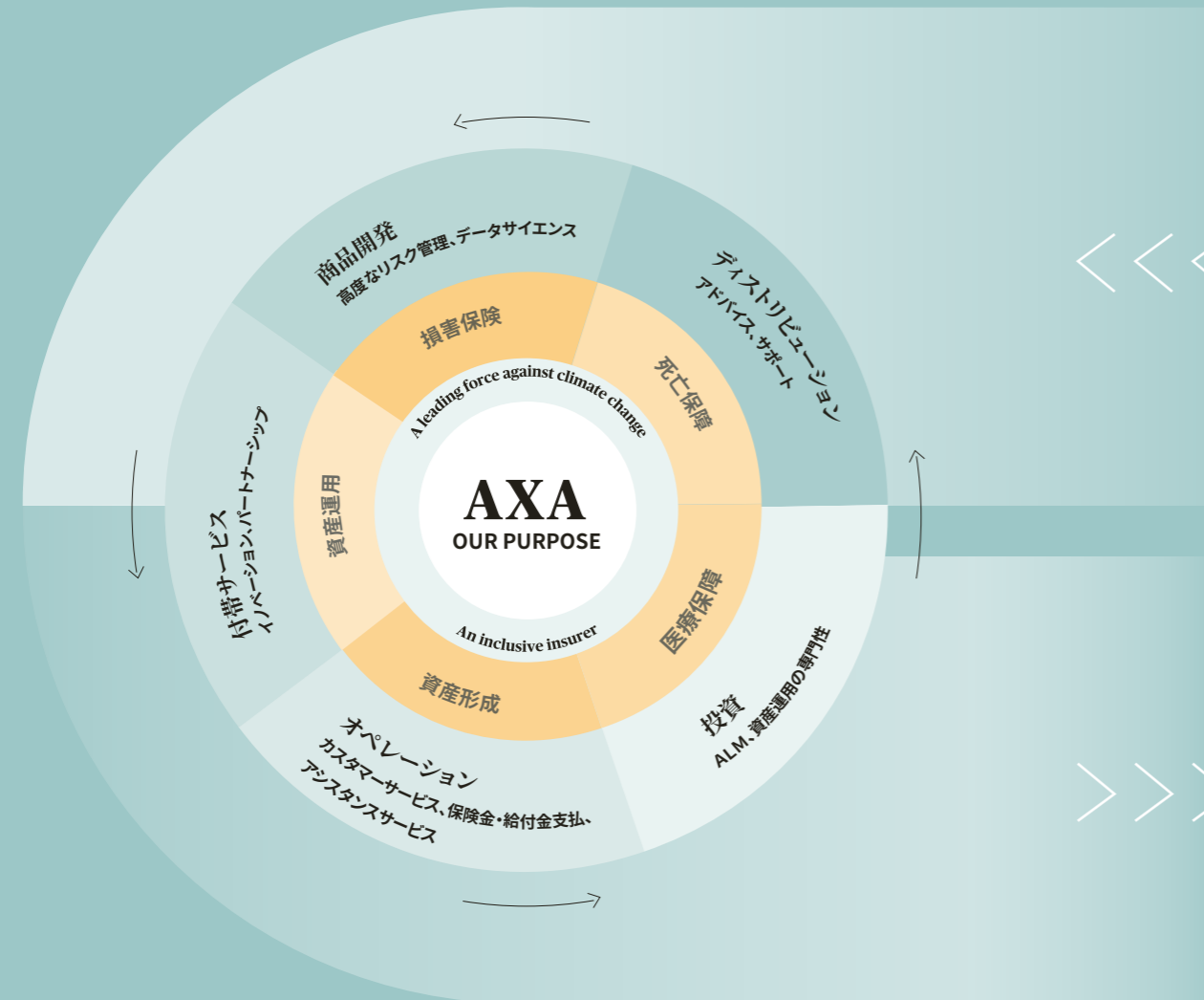
# OUR PURPOSE

— パーパス 私たちの存在意義 —

## Act for human progress by protecting what matters

すべての人々のより良い未来のために。私たちはみなさんの大切なものを守ります。

アクサはステークホルダーの皆さまとともに持続可能な価値の共創を目指します。



お客さま 株主 従業員 ディストリビューター パートナー 政府・行政機関 地域社会

### リソース

私たちは個人、法人のお客さまに商品・サービスをご提供しています。お客さまは保険料のお支払いなどを通じて、私たちの事業活動に売上をもたらしています。



アクサは、投資家の皆さまから株式や債券を購入いただくことによって、ビジネス遂行上必要な資本を確保しています。



従業員の多様な個性やビジネスにおける専門性が、アクサの効率的で収益性の高い、堅実な経営を支えています。



代理店やブローカー、金融機関などのディストリビューターと緊密に連携しています。



外部委託先から商品やサービスの提供を受けています。



政府や規制当局が保険会社の健全性を確保するための規制、商品やサービス、課税などに関するルールを定めています。



私たちの事業は、ステークホルダーから信頼いただくことで継続することができ、地域社会に支えられて成り立っています。



### インパクト

私たちがお届けしている保険金・給付金、その前後のサービスが経済的なサポートと安心をご提供しています。私たちの予防啓発の取り組みはお客さまの大切なものをお守りし、明日へのより良い一歩をサポートしています。

株式および債券に対する配当等を行っています。

従業員にはスキルや能力の開発、雇用を提供し、公正な報酬を支払っています。

締結した合意内容に従い報酬を支払い、キャリアプランに応じたトレーニングによってサポートしています。

信頼されるパートナーとして、協働している企業をサポートし、成長に向けて投資しています。

社会的責任を果たすため、政府機関等と連携し、納税等の義務を着実に遂行しています。

多様な人々が加入・利用しやすい商品・サービスの提供や投資、環境や地域社会の課題解決に資する取り組みなどを通じて、社会にポジティブなインパクトをもたらしています。

### — VISION —

Payer to Partner

保険金をお支払いする「ペイヤー」から「パートナー」へ

### — STRATEGY —

#ONE AXA 2023 - お客さまと共に

### — OUR VALUES —



お客さま第一



勇気



誠実



ひとつのチーム

## Core Business

コアビジネス



保険商品・サービス



アドバイス



新契約



お客さまサービス



資産運用



保険金・給付金のお支払い

# 私たちアクサジャパンがブランドに込める想い

ひとが生まれ、日々を暮らす中で求める願い。  
「毎日を安心して過ごせるように。そして、未来がより良いものであるように」  
そんな誰もが持つ希望に向かって、大切なものを守りながら夢を自由に描ける社会をつくる。

アクサが挑戦し続けていることは、こんなにもシンプルです。

しかし、私たちは複雑な社会に生きています。  
誰かの真似やどこかで見聞きした手法では解決が難しいことも少なくありません。

「いま何が起きていて、これから何が起ころうとしているのか？」  
家庭や職場、地域、興味や関心でつながるコミュニティ、  
その他あらゆる結びつきの中に属する一員として、

健やかに、理想とする人生をおくるにはどうすればいいのか？  
変化を楽しみながら成長することはできるのか？  
何かが起こった時にも安心できる拠りどころをいかにして作ればいいのか？  
気候の変動で揺らぐ世界をどのように変え、次の世代につないでいくのか？

答えがひとつとは限らない、そんな問いに――。  
アクサジャパンに集う一人ひとりは、誠実に、勇気をもって向き合い、  
歴史、知恵、経験、それぞれの視点で議論を重ね、  
保険と資産運用が調和した大きなひとつの力で、いまより先を切り拓いていきます。

アクサは、200年以上前にフランス・ノルマンディー地方の小さな保険会社として始まりました。  
そして、世の中を変えるような「新しさ」を提案し、広く世界中に展開してきた会社です。  
アクサジャパンもまた、その精神で新しい価値を「当たり前」にする挑戦を続けています。

どこにいようと、いつの時代であろうと、つながるすべてのひととともに。  
変わらない願いが必ず叶うことを信じて、私たちは歩んでいきます。

# Human Progress



## 2019年～

### 新たな気候戦略

2019年11月、アクサグループは国連の持続可能な保険原則 (UN PSI)との連携により開催された「AXA Climate Impact Day (アクサ気候変動インパクト・デイ)」において、新たな気候戦略を公表しました。

- ・2050年までにアクサの投資の「地球温暖化係数」を1.5°C以下に抑える
- ・欧州及びOECDは2030年まで、その他の地域では2040年までに石炭への投資と保険引受を0%にする
- ・エネルギー移行をサポートするための「トランジションボンド」に1億ユーロを投資
- ・2023年までに240億ユーロのグリーン投資を達成することを目標とする

## 2008年～

### アクサリサーチファンド設立

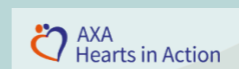
アクサは「環境」、「健康」、「テクノロジー」、「社会・経済」に関するリスクの理解と予防をテーマにした基礎研究を支援する「アクサリサーチファンド」を設立しました。日本では5つのプロジェクトに約3億円を拠出しています。2020年、新型コロナウイルスの感染拡大に対応するため、パスツール研究所のパンデミックに対応するプロジェクトを支援しました。



## 1991年～

### アクサハーツインアクションスタート

従業員が地域社会の課題解決に寄り添い、時間を寄付するボランティアプログラムです。フランスでAXA Atout Coeur (アクサアトクール)として立ち上げられ、CR (コーポレート・レスポンスビリティ)のリアリティ領域「社会的公正の是正とインクルージョン」、「気候変動と環境」、「健康と病気予防」を中心に、活動が世界に広がっています。



## 2010年～

### コーポレート・レスポンスビリティ (CR)を経営戦略に組み込む

アクサは、CR (企業市民として社会的責任を果たす取り組み)を経営戦略に組み込み、ビジネスの強みを活かして社会的課題を解決するサステナビリティの取り組みを進めています。持続可能な社会の発展を目指して、国連や国際的なNGOとも連帯し、社会的課題の解決に向けたグローバルな取り組みも推進しています。アクサは民間企業として国連のSDGsの目標達成を支援しています。



**1817**  
アクサの前身  
アンシェンヌ・ミュチュ  
エル・ド・ルーアン設立

**1934**  
日本団体生命設立

**1986**  
エクイタブル生命設立  
(2007年ウインタートウル・スイス  
生命としてアクサ生命と経営統合)

**1994**  
アクサ生命設立

**1998**  
アクサ損害保険  
(アクサダイレクト)設立



**2000**  
アクサ生命と日本団体  
生命が経営統合

**2008**  
アクサダイレクト  
生命営業開始



## 「お客さま第一」を経営の根幹に置き、 お客さま主導のデジタルカンパニーへ

日頃よりアクサ損害保険(アクサダイレクト)をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。本ディスクロージャー誌をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

2020年度は、昨年度末に発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が国内外各地に甚大な被害をもたらし、新年度を迎えた現在においても終息の時期に関しては依然予断を許さない状況が続いています。新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さま、また、感染拡大によりご不安な日常生活や事業運営を余儀なくされていらっしゃる皆さまに、謹んでお見舞い申し上げ



ます。皆さまの一日も早いご回復と感染症の終息を願ってやみません。

このような環境下ではございましたが、お客さまのご愛顧に支えられ、高品質なサービスの提供に努めてまいりました結果、昨年度(日本会計2020年4月～2021年3月)決算におきましては、引き続き好調な収益と堅実な成長を実現することができました。

元受正味保険料は、自動車保険およびペット保険の持続的な成長により前年同期比1.8%増の56,196百万円、税引後の当期純利益は、同37.1%増の3,784百万円となりました。今後も国内損害保険市場の動向と急速に変化する社会環境下におけるお客さまのご要望にお応えするため、強固な財務基盤を支えとしながら変革への持続的な投資を行ってまいります。

当社では、大規模なトランスフォーメーション(変革)プロジェクトを各エリア別に漸進的に進めてまいりましたが、2021年4月に完了した一部基幹システムの刷新をもって、お陰さまで数年にわたる当該プロジェクトを無事に完遂することができました。お客さま主導のサービスをデジタルに提供する保険会社になることを目標に社員一丸となって変革に取り組んでまいりましたが、今やその萌芽が花開く姿が日常的な光景となりつつあります。

この場をお借りして一部実例をご紹介させていただきますと、お客さまの利便性向上の面では、ダイレクト自動車保険会社初<sup>\*1</sup>

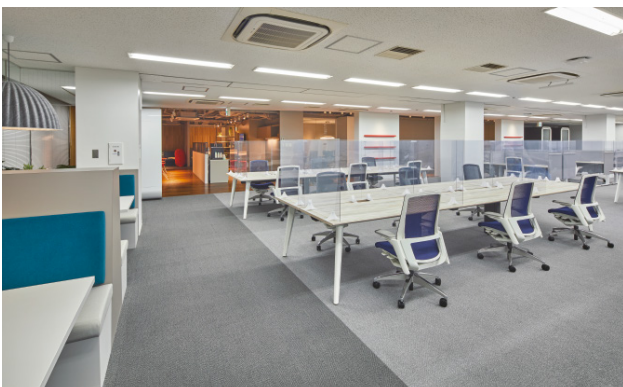


となる「補償おすすめ機能」を提供させていただきました。当機能は、ウェブサイトの見積り画面上で、AIが契約内容を含む匿名化されたビッグデータ<sup>※2</sup>をもとにリアルタイムに分析し特定の補償内容を個別に提案するというものです。特に新規のお客さまの「どのような補償内容を選ぶべきか」「他の契約者がどのような補償内容を選択しているのか」という疑問に、データに基づいて提案することで、お客さまの潜在ニーズにお応えし、従来よりも補償内容や保険料に納得してご検討いただくことが可能となりました。また、お客さまとのシームレスなコミュニケーションを実現するためにSMS含めたチャネルの拡充を図ることで、事故対応サービスを中心にお客さまから高評価をいただくことができました。

一方、社員のウェルビーイング(身体的、精神的、そして社会的にもすべてが満たされた状態にあること)充実におきましても、2017年から段階的にコールセンターシステムをクラウドへ移行したことで、コロナ禍において要請された全社的な在宅勤務環境整備を迅速に実現することができました。

働き方改革におきましては、在宅勤務とオフィス勤務それぞれのメリットを最大限に活かすハイブリッドな働き方「スマートワーキング」の一環として、本社のリノベーションを行い、2021年4月末より新しいオフィス環境で業務を開始しました。

また、職場におけるインクルージョン&ダイバーシティ促進の面では、LGBTQ+などのセクシュアル・マイノリティ(以下、LGBTQ+)当事者が働きやすい職場づくりを目的とした人事制度の整備や、社内ネットワーク活動等が評価され、LGBTQ+への取組みの評価指標「PRIDE指標」<sup>※3</sup>において、最上位の「ゴールド」を2020年11月11日にアクサ生命保険株式会社と同時に受賞しました。当社は2018年から3年連続の受賞となりました。



コーポレート・レスポンスイビリティ(CR)活動におきましては、2018年より認定NPO法人「シャイン・オン!キッズ」とのパートナーシップを通じ、入院中の子どもたちを支えるファシリティドッグの支援活動を継続して行う一方、各拠点で病気と闘う子どもたちへの支援を目的として、遠隔操作型分身ロボット「OriHime」を使ったリモート交流を行いました。

今後も、企業文化の一部としてCRを浸透させていくことによって、「地域社会」、「お客さま」、「社員」、「株主」、「環境」、「サプライヤー」といった主要なステークホルダーに対して責任ある企業としての役割を果たすことを目指してまいります。

また、当社は内部統制やコンプライアンスおよびリスク管理の機能発揮をしっかりと誠実に実行していく所存です。なぜならば、その取組みが間違いなくビジネスの持続可能性につながることを確信しているからです。

今後も「すべての人々のより良い未来のために。私たちはみなさんの大切なものを守ります。」というアクサグループのパーパス(存在意義)のもと、お客さまに寄り添い、お客さまから常に信頼されるパートナーとなることを目指してまいります。

皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援・ご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

アクサ損害保険株式会社  
代表取締役社長 兼 CEO  
ハンス・ブランケン

※1：ダイレクト型自動車保険8社の当社比較(2021年1月現在)

※2：当社はお客さまからお預かりした情報は適切に取り扱い、正確性・機密性の保持に努めています。専任のセキュリティチームおよび経営層を含む管理体制を維持し、業界のセキュリティスタンダード、および金融庁のガイドラインを順守しながら、社内ルールの整備・徹底、情報システムに対する安全対策の実施等を通じて、お客さまの情報を守るために情報セキュリティ管理の向上に常に取り組んでいます

※3：任意団体「work with Pride」が、企業・団体などの枠組みを超えて、LGBTQ+の方々が働きやすい職場づくりを日本で実現することを目指し、2016年6月に策定した指標